

平成 24 年度 九州地区懇話会活動報告  
税田慶昭（北九州市立大学）

平成 24 年度の九州地区懇話会は公開講座「“身体(からだ)”からの早期支援の実践的取組」を実施した。北九州市立大学を会場に 39 名の参加があった。母子保健や保育園、幼稚園関係者、支援者に多数参加いただき、実践につながる充実した研修会となったと考える。

乳幼児期から就学移行期における発達支援について、“からだ”をキーワードに講演とディスカッションを行った。講師の藤吉先生からは乳幼児健診での身体を通した親子の関わり支援について、浦川先生・樋口先生からは幼稚園における就学移行支援についての実践が紹介された。その後のグループディスカッションでは職種や職域が異なる参加者間での交流がもたれ、活発な議論・質問が行われた。参加者からは実践的な支援法としての学びや、実技などの研修の希望などの感想が聞かれ、今後の企画にも活かしたいと考える。

■公開講座「“身体(からだ)”からの早期支援の実践的取組」

【日時】平成 25 年 3 月 3 日（日）10:00～12:00

【会場】北九州市立大学（北方キャンパス） 4 号館 1 階 4-101 教室

【企画趣旨】

乳幼児期から就学前期の支援者向けの公開講座です。

子どもたちに接していると「身体の動き」「身体の使い方」が気になることはありませんか？発達支援の中では得意・不得意といった認知特性がよく取り上げられますが、同時に、支援の対象となる子どもたちの多くに運動や細かな作業、授業中の姿勢維持など身体のコントロールの難しさもみられます。

「心」と「身体」は一体的です。心の状態や気持ち、子どもの特性は姿勢や身体の動きと双方向に影響しあいます。だからこそ、身体に対するアプローチは子どもの成長に効果的で、日々取り組みやすい支援ともなります。言葉をもたない赤ちゃんにも応用できるものです。今回、乳幼児期・幼児期の実践的な取組について、藤吉先生には直方市の乳幼児健診や保護者支援で赤ちゃんの身体に直接触れながらの支援の様子を、浦川先生・樋口先生には幼稚園での学習面・身体面での就学移行支援の取組をお話しいたします。早期支援について一緒に考えながら、参加された皆様が“うちでもやってみよう”と思える講座になれば幸いです。多くのご参加をお待ちしています。

【時程】

- (1) 開会・趣旨説明 10:00～10:15 北九州市立大学 税田慶昭
- (2) 乳幼児健診での取組 10:15～10:45 たていわ病院 藤吉晴美 先生
- (3) 就学移行支援での取組 10:45～11:15 小倉南幼稚園 浦川紫織 先生  
小倉南特別支援学校 樋口陽子 先生
- (4) グループセッション・質疑応答 11:15～12:00